■アイペット損害保険の業績

大企業コンサル

事業創造

成長戦略

幹部育成

4.8M

···etc.

保険契約件数

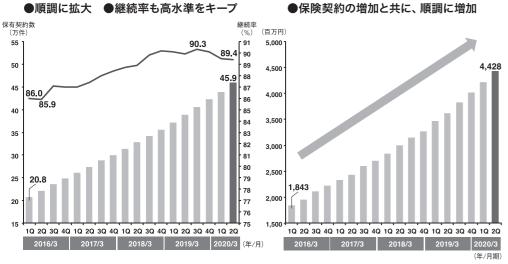
売上推移(単体ベース)

●保険契約の増加と共に、順調に増加

◀戦略コンサルティング、インキュ

ベーション、事業投資の3分野を

柱とするビジネスモデル



ン 投稿監視のイ 実績として、 6 ト開発・ 0 5 してい Ö

AIPOして 社に投資し 販売のソ インター いる。このう 東1) ・ガー ・ディ Pィア - ネリカット の 社 P C スネ

売却できています。また、投資額に対して2・3倍の額で資額に対して2・3倍の額でのうちの半分弱が元値より高 収益率) 資期間内における1年あたり売却できています。また、投 決着済みで売却しました。 利回りであるIRR 「実績としては、 0社の半分の8社ほどが だと思って も16%と悪くな 投資した (内部

キュベー

ションを行っていく

ベンチャー投資

日本

・米国

···etc.

Work Style Lab

例えると、

「当社の事業構造を家屋に

・インド

・ベトナム

・投資では過去17 子業である

スト 3 4

> がある。 企業約4位に投資している。 本、 格安航空会社の インドなどのベンチャ 9 2 0 6 19年9月末現在、 ス . 東2 など

日

事業創造・1

・育成を支援サルをベースに

事業を創造・育成する

s i

n

e s

S

P r

を使わず させます。 3つをバランスよく 事業投資のアイペット、 も安定しています。 投資はファンドにして資本 、3階がベンチャー投資。り、2階がコンサルティン ウォークは今後さらに拡大 のが コンサルテ ベンチャ ング

ipet

Data & Intelligence

BOARDWALK

今後

も戦略コンサルティングをベ

- スに様々なかたちでのイン

n Ο

ソ」を掲げる同社は、

d е

u c i Ви

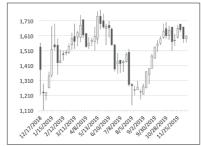
n g C

0

m p a

績予想を合理的に行うことが困難であるため、非開示。

値動き



ンチャ つの創業事

などの取り組みに注力して (同氏)

ムを形成して事業創造を行う社を巻き込んだコンソーシアを画などの課題に対し、複数

ます」

ドリームインキュベータは、2000年に 「事業投資」モデル創出 自分たちで事業を行う 設立された日本発の戦略コンサルティン グ会社だ。大企業コンサルティングとベン チャー投資を創業事業としてきたが、第3 の柱として山川隆義社長が「事業投資」 のビジネスモデルを創出。現在はペット保 険や電子チケット販売などへの事業投資 を展開し、上場企業としての安定成長に

貢献している。



Profile●やまかわ・たかよし

京都大学工学部および同大学院精密工学修士 (生産システム専攻)。1991年4月横河ヒュー レット・パッカード株式会社(現日本ヒューレッ ト・パッカード株式会社) 入社。ボストンコンサ ルティンググループを経て、2000年に設立され たドリームインキュベータの創業に参画。05年 6月同社取締役副社長就任。06年6月代表取 締役社長就任 (現任)。

> 投資』というモデルを生み出 だということになり、 事業をやっていかないとだめ (継続企業の前提) (山川隆義社長) 自分たちではな 『事業

略

ン

サ

•

C投資で創

業

●4310・東1

ツ

保険会社に

出資

し順調

に

拡大し、 東証マザ の結果、 ため、 19年3月期には1 時は25億円の売上であったが など経営支援に注力した。そら損害保険会社に転換させる 3月には少額短期保険業者か 実際に事業会社を経営する ペッ アイ 売上比率7割を占め -を買収。 ーズに上場。 \sim ペットは18年、 ット保険のア 2012年 4 9億円に 買収当

たが、 に出資。 る主力に成長した。 同様に、 ボ 経営基盤やシステム構 ドウ 出資時は赤字であ 電子チケ (非連結) ッ ト販売 0

氏り

押さ

13

きます

んで

くる分野であり、

か

0)

高益を達成した。 築等の経営支援を行って黒字 18年12月期には過去最 ト保険に投資した時

手

効率的に展開できます。 安定したビジネスになって 配されましたが、 投資して大丈夫か』 は周囲から『そんなところに に展開できます。ペッると様々なビジネスを チケッ 今は非常に と随分心 もデ

なり、

建て直しを図

って

ま

注がなくなったの

で売上減と

捉えて事業を創造するプロジ

O

当社は大きな社会課題を

同社の創業に参画。設立後は川氏は、堀氏に声をかけられタントとして活躍していた山りた。当時BCGでコンサル

年に東証1部に上場。

ルとべ

が成功して売却し、

利益を

で出

チャー投資の2事業な同社は戦略コンサル

2事業を展開

すから、ゴーイングコンサしても売ってしまえばゼロ

社は02年にマザーズ上場、任後から手掛けたものだ。

05

「投資し

たべ

ン

企業

ンダ

が2000年に設立

の堀紘一氏

(現取締役ファウ

スモデルは、

Щ

川氏が社長就

かない め

う思いに至ったと

ンググループ(BCG)代表当時のボストンコンサルティ

分野を展開する現在のビジネンチャー投資、事業投資の3

06年に社長に就任した。

戦略コンサル

ティング、

高の3分の2はキャピタ

ル

インであり、

変動が大きい

た ゲ

上場企業としては立ち行

円と好調だっ

た。

ただ、

売上

口、経常利益約19億3月期の業績は売上

キュ

28 過 社 去 が 1 7 Ρ 0 - 〇社に投資

30億円の売上がある。 は同社の創業事業だ。 戦略コ 企業を顧客とし、 「前期は特定大 ンサル ゲテ 1顧客の 年間20 発

^未だ。主に大 ノイング事業

を動かす も の。 テ 人々が飛び込

12,691 538 人間の 2016年 3月期

■通期連結業績



株式データMEMO

コード 43	10	市場	東証1部
直近株価 1,597円 (19.12/23終値)			
昨年来高値	1,785円	(19.5/	20)
昨年来安值 1,145円 (19.8/6)			
PER —		PBR	1.42倍
配当利回り	_	決算期	3月

2019年3月期 連結業績 前期比 207億500万円 売 12.4%增 上高 営業利益 1億2400万円 93.3%減 経常利益 2億7700万円 85.5%減 当期純利益 3億7800万円 57.9%減

2020年3月期 連結業績予想

プロフェショナルサービス事業は比較的将来の予測が立ちや すい一方、インキュベーション事業の1部については売上高の 多くが株式市場における株式売却によってもたらされることか ら、株式市況やIPO動向に伴って振幅し、現時点において業

社メディ

アの

「ベンチ

を運営して

いる

としてオウンドメデ

設立した。

起業家を募る手段

模拡大を見据え、

投資ファン

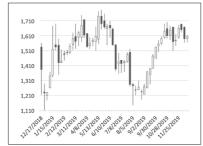
D I M E N S I

Ŏ N

を

中心だったが、今後の投資規 投資は自己資金による投資が

従来の国内向けベンチャ(同氏)



35 2020.2 株主手帳